

さくらっ子

三春町立中郷小学校
学校だより 第6号
発行日 令和5年6月7日
発行者 校長 宇都宮 弘

田村地区陸上競技大会が、5月25日(木)に田村市陸上競技場で開催されました。これまでの練習の成果を十分に発揮し、自分の目標に向けて、全力で取り組むことができました。

6年生のこれまでの頑張り大きな拍手をおくりたいと思います。練習時や当日のサポート等で保護者の皆様にも、大変お世話になりました。ありがとうございました。

入賞おめでとうございます！

女子走り高跳び	1 m 2 2 cm	2 位 (大会新記録)
男子80mハードル	1 6 秒 3 4	5 位
男子80mハードル	1 6 秒 8 6	6 位
男子ボール投げ	5 0 m 6 4 cm	7 位
混合4×100mリレー	1 分 1 8 秒 6 7	4 位

※ホームページ上では児童の氏名は控えさせていただきます。



スタンドからの声援も力に！



6年生のがんばりに大きな拍手！

奉仕作業ありがとうございました！

4日(日)に、中郷地区のたくさんの皆様のご協力をいただきながら、除草作業を実施しました。生い茂っていた草が、あっという間に刈られていく様子を見て、改めて、中郷学校の教育活動が地域の皆様の熱い支援があって継続できておりますことを実感しました。お忙しい中、早朝より誠にありがとうございました。



第2回学校運営協議会開催



5月31日(水)に第2回学校運営協議会を実施しました。第1部では授業研究会の様子をご覧いただき、第2部では三春町教育委員会から今後の学校の在り方について説明があり、その後意見交換が行われました。第2部で説明された内容については、7月5日(水)の授業参観で、保護者の皆様にも三春町教育委員会より説明があります。

校長室から

麻布教育研究所の永島孝嗣先生を招いて、授業研究会(学校運営協議会と同時開催)を行いました。午前中は全学年の授業、午後は2・3年生の算数科の授業を参観していただきました。新学習指導要領の授業への授業変革が道半ばであるというご指摘を受け、教員一同、改めて授業改革への思いを強くしました。さらに、永島先生の講演では、世界の教育の状況について、とても興味深い、次のような話がありました。

- ・80年代から議論され、90年代に決着し、同質集団(習熟度別の集団)より異質集団での学習の方が圧倒的に伸びることが確認されている。そのため、先進国では高校入試はなくなってきている。文部科学省が検討を始めているので、日本でも、10年以内になくなるのではないかと。
- ・世界では20人学級が標準で、全校児童で最大100人程度(10人から100人の間)の学校が多くつくられている。それは、小学校は地域に残し地域と共に学ぶことが大切であるという考えに基づいている。
- ・オランダでは、大規模校でも複式学級を導入している学校が珍しくない。

永島先生の話の後、調べてみたところ、イエナプランといわれるオランダの教育では、異年齢学級(1~3年、4~6年の3学年を混ぜた学級)が編成され、日常的に幅広い年齢の人たちと過ごす経験を増やしているとのことでした。そのねらいは、3つあり……。続きは紙面の都合上、次号で。

世界では、子どもたちのため、教育改革が進められ、様々な実践が行われていることが永島先生の話からよくわかりました。保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて、新時代の中郷学校を創っていきたく強く思いました。